

# 京都きづ川病院(京都府立医科大学附属病院 関連施設)における急性冠症候群の実態調査

## 研究の目的

---

京都府における急性心筋梗塞の発生率は人口 10 万人あたり 50 人とされています。急性心筋梗塞の院内死亡率はカテーテル治療の発展に伴い、20 年前と比し低下傾向にありますが、高齢化を背景にここ数年は改善に乏しく、院内死亡率は 7～10%と依然高く推移しています。急性心筋梗塞を含む急性冠症候群の新たな観察研究を行うことは、治療や救急医療体制の課題を明らかにし、患者様の院内死亡率の低下や、長期予後の改善に寄与できると考えております。そこで、以下の方法で研究を行うことにいたしました。

## 対象となる方と研究機関について

---

当院に急性心筋梗塞及び搬送時心肺停止にて来院又は搬送された方を対象にします。期間は 2020 年 1 月 1 日以降、倫理審査委員会承認後から永年です。

## 方法

---

診療録(カルテ)より以下の情報を取得します。

## 研究に用いる情報について

---

年齢・生年月日・性別、既往歴、病歴、心肺停止状況(心肺停止の症例のみ)、検査値、血管造影所見、治療内容、死亡原因、死亡以外のイベント(心筋梗塞の再発、脳卒中、出血性合併症、致死性不整脈など)の発生状況など

## 個人情報の取り扱いについて

---

氏名、生年月日などの患者さんを直ちに特定できる情報は削除し研究用の番号を付けて取り扱います。患者さんと研究用の番号を結びつける対応表のファイルにはパスワードを設定し、インターネットに接続できないパソコンに保存します。このパソコンが設置されている部屋は、入室が管理されており、第三者が立ち入ることができません。また、この研究の成果を発表したり、それを元に特許等の申請をしたりする場合にも、患者さんが特定できる情報を使用することはありません。なお、この研究で得られた情報は関連施設研究代表者(京都府立医科大学 循環器内科学 教授 的場聖明)の責任の下、厳重な管理を行い、患者さんの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

## 情報の保存および二次利用について

---

本研究に関連して、開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。

## お問い合わせ先

---

患者さんのご希望があれば参加してくださった方々の個人情報の保護や、研究の独創性の確保に支障が生じない範囲内で、研究計画及び実施方法についての資料を入手又は閲覧することができますので、希望される場合はお申し出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

### < 連絡先 >

京都きづ川病院 循環器内科 研究責任者 國枝 泰史  
電話:0774-54-1111 (平日 9:00~17:00)

以上を診察室や救急室に掲示、さらに当院のホームページに掲載し、オプトアウトの体制で臨床研究を施行する所存です。